

# 甘くて苦い、喫茶150年史



15th Anniversary (2009-24)

ナカノシマ大学2024年5月講座



珈琲専門店チケ(1959年・阿倍野区長池町)



上から/平岡珈琲店(1921年・中央区瓦町)、丸福珈琲店(平岡本店(1934年・中央区千日前)、LONG WALK COFFEE(2016年・北区天神西町))

## 5/17(金) 18:00~19:30

会場 大阪府立中之島図書館(3階多目的スペース)

受講料 2,000円(小学生以下1,000円) 定員 60名

講師 田中慶一(文筆家・大阪 喫茶店クロニクル著者)

主催 大阪府立中之島図書館(指定管理者ShoPro・長谷工・TRC共同事業体)

企画協力 ナカノシマ大学事務局(株式会社140B)

### あなたが大好きなあの店は、どんな時代に生まれて、今に至るのか？

喫茶店&コーヒー好きライターの第一人者で、新刊「大阪 喫茶店クロニクル 個性に満ちた憩いのワンダーランド」(淡文社)の著者・田中慶一さんがナカノシマ大学に初登壇します。著書は大阪の喫茶150年の歴史を深く掘り下げ、100人を超える店主や関係者から取材した力作で、早くも「これはスゴい!」と注目を集めています。今回はその刊行を記念し、世界に誇る「喫茶店王国・大阪」を講義していただきます。お楽しみに!

**(講師からのメッセージ)** 大阪の人なら、一度は聞かれる質問が「なんでこんなに喫茶店多いの?」。「会社が狭いから商談で使う」「商いの街やし、店始める人が多いんちゃう」「いっぱいあったら、うまいこと仕事サボれる」……って言いたくなるところを、150年遡って「ひっこく」掘り返した末の一冊が、拙著「大阪 喫茶店クロニクル」です。

都道府県別の喫茶店数で長らく日本一を譲らぬ大阪ですが、実は膨大な数の裏には、独自の発展を遂げた歴史の層の厚みあり。街にひしめくキャラの立った店の数々は、創意と発想を競った店主と、値打ちにうらさいお客が生み出した多様性の賜物です。今回の講座では、明治・大正から続く喫茶店とコーヒーの系譜をたどりながら、大阪人が愛してやまない憩いの場の知られざるストーリーをご紹介します。

身近だからこそ新鮮な「喫茶店ワンダーランド」大阪の醍醐味をご案内します。

たなかけいいち

1975年滋賀県生まれ。立命館大学産業社会学部卒業。学生時代からのコーヒー好きが高じて、2001年から珈琲と喫茶にまつわる小冊子「甘苦一滴」を自主発行。関西の喫茶・珈琲店を中心に全国各地に配布(通巻20号)。以来、喫茶文化から現代のカフェ、コーヒー事情等の取材を続け、専門分野を開拓し、雑誌等に寄稿多数。訪れた店は1400軒を超える。著書に「京都 喫茶店クロニクル 古都に薫るコーヒーの系譜」(淡文社)がある。



講師の田中慶一さん



※当日は会場で、「大阪 喫茶店クロニクル」を販売します(税込2,200円)

→受講申込は、こちらのQRコードから  
ナカノシマ大学のWEBで受付します。

※次回(4月21日)金(18時予定)……「読者は面白い、そして街の本屋に「参加」するのはもったいない!」

講師=三紗愛明(「読書家」主宰、「町の本屋」とう協議 定有堂書店の43年)著者)



# カフェから大阪が見える